

2021年8月25日

各位

株式会社大和証券グループ本社
大和証券株式会社
GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社

お客様向けにデジタルトランスフォーメーション推進サポートを開始 - 「電子印鑑 GMO サイン」の提供-

株式会社大和証券グループ本社、大和証券株式会社（以下、「大和証券」）及び GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社（以下、「GMO グローバルサイン・HD」）は、下記のとおり、大和証券のお客様向けにデジタルトランスフォーメーション（以下、「DX」）推進のサポートを開始しましたことを、お知らせいたします。

なお、本件は金融商品取引所が定める適時開示基準に該当いたしません。

【背景と目的】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、急速なデジタル化の進展や働き方の見直しが進み、日本企業は変革への対応が求められています。また、サステナブルで豊かな社会の創造を目指す SDGs の推進に対する機運も高まっており、カーボンニュートラルに対応した職場づくりへの対応が急務となってきています。

今般、大和証券及び GMO グローバルサイン・HD は、日本企業の DX とサステナブルな組織への転換という二つの変革を後押しし、日本社会全体の DX 推進を強力に進めるという理念に共鳴し、DX に資するソリューションツールとして、大和証券のお客様向けに、GMO グローバルサイン・HD が提供する「電子印鑑 GMO サイン」を紹介することで合意いたしました。

大和証券と GMO グローバルサイン・HD は、電子印鑑 GMO サインの提供を通じて、多くの日本企業の皆様の DX や、ペーパーレス化による環境保全という具体的なアクションを後押ししてまいります。

また、大和証券グループは、2018 年に SDGs 推進委員会を設置し、経営戦略の根底に SDGs の観点を取り入れると共に、持続可能な社会の実現に資する商品・サービスの提供に努めてまいりました。本年 5 月には、経営ビジョン“2030Vision”を策定・公表し、「貯蓄から SDGs へ」をコアコンセプトに、資金循環の仕組みづくりを通じた SDGs の実現を目指しています。

他方、GMO インターネットグループは 2020 年 4 月より「脱ハンコ」に取り組むと共に、事業を通して SDGs の達成に向けた活動をしています。特に、25 万社の事業者へ電子契約サービス「電子印鑑 GMO サイン」を提供することで、社会の業務効率化、及びペーパーレス化実現を推進し、『9.産業と技術革新の基盤をつくろう』『12.つくる責任つかう責任』の目標達成に向け貢献しています。

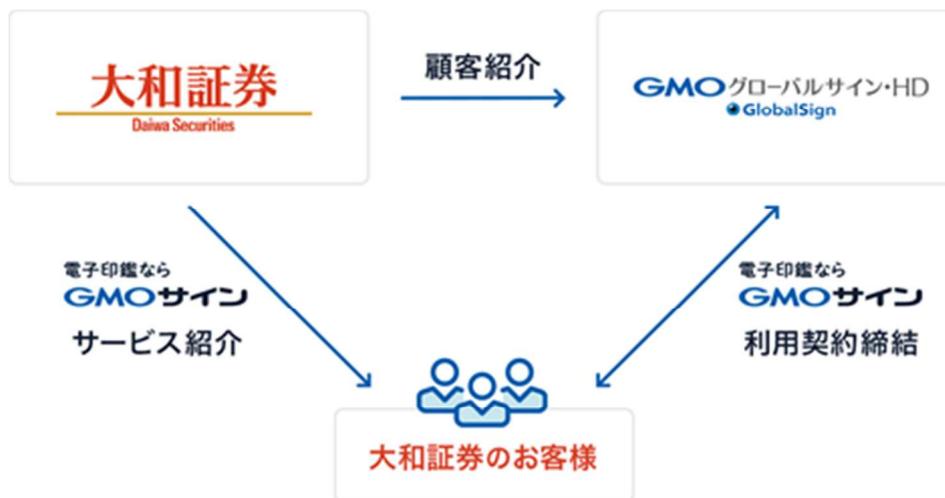
本件は、そうした大和証券グループと GMO グローバルサイン・HD による取組みの一環でもあり、両社は、今後も、サステナブルで豊かな社会の創造に向けて貢献してまいります。

【概要】

本件では、大和証券のお客様に対し、大和証券の社員が電子印鑑 GMO サインの紹介をし、興味を持たれたお客様を大和証券から GMO グローバルサイン・HD に顧客紹介します。

お客様が電子印鑑 GMO サインのご利用をご希望される場合は、お客様と GMO グローバルサイン・HD とで、直接利用契約をご締結いただきます。

(イメージ図)



【株式会社大和証券グループ本社の概要】(URL: <https://www.daiwa-grp.jp/>)

名 称	株式会社大和証券グループ本社
所 在 地	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
代表者の役職・氏名	執行役社長 中田 誠司
主 な 事 業 内 容	グループ会社の事業活動の支配・管理
資 本 金	2,473 億円

【大和証券株式会社の概要】(URL: <https://www.daiwa.jp/>)

名 称	大和証券株式会社
所 在 地	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中田 誠司
主 な 事 業 内 容	有価証券等の売買、有価証券等の売買の媒介、取次又は代理、有価証券の引受等の金融商品取引業及びそれに付帯する事業
資 本 金	1,000 億円

【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社の概要】(URL: <https://www.gmogshd.com/>)

名 称	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 青山 満
主 な 事 業 内 容	電子認証・印鑑事業、クラウドインフラ事業、DX 事業
資 本 金	9 億 1,690 万円

以 上